

1年間のアンカレジ留学に
チャレンジ!

千歳と世界の架け橋に

北海道千歳高等学校 国際流通科 3年

さとう あゆむ
佐藤 歩夢 さん



ダイヤモンド高校長期交換留学事業の第1期生として、今年8月からアンカレジに留学予定。留学体験をレポートする動画の制作資金に充てるため、Instagramを通じてクラウドファンディングを実施中。ご協力をお願いします。

窓

みなさんの活躍
紹介します

——留学に応募したきっかけ。
中3のときにNBAのバスケットを見て、レベルの違いやスケールの大きさを感じたのと、スポーツ以外にも学習環境の面でアメリカが長けていると感じたので、留学にチャレンジしたいと思いました。
——アンカレジの第一印象。
自然の豊かさや自由さが、僕が住む向陽台に近いと感じました。でも冬が長かったりマイナス30℃を記録することもあり、中でも夏と冬の日照時間の差の大きさが、リサーチしていて一番違うなと思ったところ。また、かつてロシア領だったことや、金や石油が次々と発掘されて豊かになっていった時代背景も興味深いですね。

——勉強以外で頑張りたいこと。
ダイヤモンド高校長期交換留

学事業は僕が第1期生なので、留学体験動画を作って発信し、千歳とアンカレジの交流を盛り上げたいと思っています。見た人が海外に興味を持ちたい、笑顔になってくれるといいなと思います。
海外留学の参考にするため、YouTubeで高校生のアメリカ留学をレポートした動画がないか探したのですが、一つもないんです。それなら自分で作って、後の人が見て参考にしてくれたらいいですし、ゆくゆくはこの交換留学が「千歳といえればこれ」くらい盛り上がる事業になってくれたら嬉しいです。
——将来の目標。
国内外で活躍する経営者になりたいです。日本と海外との橋渡し役になれる学生を増やして、国と国との文化の交流を深める事業を展開したいです。同時に、自国の文化の大切さも伝えていけたらいいなと思っています。Thank you for reading my article!

Please follow
my Instagram!



留学の様子は、佐藤さんのInstagramでも発信予定です。

第9回

今月号では、学校に行けない子どもへの対応について紹介します。
子どもが体調不良を訴え、登校できないときには、まずは身体の病気について調べます。
貧血や甲状腺機能などの血液検査、起立試験（起立性調節障害の検査）などがよく行われます。
診断に基づき治療を始めますが、治療が効かないことや、病気が見つからないこともあります。同時に、子ども本人や家族から詳しく話を聞き、必要に応じて学校からの情報や心理検査を利用しながら、症状の背景を探ります。その子の抱える困難さについて、このとき初めて本人や関係者が気づくこともあり、必要に応じてカウンセリングや投薬を行います。
家族は子どもの将来を心配し焦りがちですが、学校

で緊張する子にとって家までもが緊張する場所になってしまつと、残っている安全な居場所はゲームやネットだけかもしれません。子どもにとって家は安心して過ごせる《安全基地》になってほしいのです。
何気ない声かけで、その子の日常を認めていきたいのですが、家族はかなり大変です。
保護者の方は、学校の支援コーディネーターやスクールカウンセラー、医療や福祉など、家の外とつながり、大変さを伝えてください。
学校の環境や子どもの持つ特徴によっては、環境調整や合理的配慮が必要です。
子どもを守るために登校させるべきではないこともあり、教室に登校しにくいときには、適応指導教室（千歳では「おあしす」）を利用することもできますので、学校や教育委員会にご相談ください。

先生、教えて!



市立千歳市民病院 地域医療連携課
☎(24)3000 内線 8138

学校に行けない 子どもについて



市立千歳市民病院
小児科診療科長 中本 哲